

平成26年度市政懇談会実施記録調書

1. 実施対象	対象地区	平磯中学区
	参加状況	44名
2. 実施日時	平成26年6月29日(日)午後1時00分～午後3時12分	
3. 実施場所	磯崎小学校体育館	

実施内容（発言，要旨，集約事項等）

1. 磯崎地区共同墓地とおり(南側)の道路のカサ上げについて (建設部)
2. 磯合住宅跡地の利用について (建設部・市民生活部)
3. 集会所(4ヶ所)の塗装について (市民生活部)
4. 放医研跡地の利活用の検討結果の提示について (経済部)
5. 平磯地区公共下水道整備について (建設部)
6. 平磯と磯崎の間に学校を建てる件について (教育委員会)
7. 平磯地区河口排水(3ヶ所)の整備状況について (建設部)
8. 平磯地区の潮祭(三社祭)への補助金の要望について (経済部)

◇事前質問 1 (磯崎地区共同墓地とおりの(南側)の道路のカサ上げについて)

道路が周囲より低いため、水はけが悪いので改修をお願いしたい。

■建設部長

磯崎地区共同墓地とおりの道路カサ上げの要望でございますが、ご指摘の箇所を確認させていただきましたが、現状では道路のかさ上げ工事を行っても雨水排水先が確保できないことや、かさ上げ工事により雨水が隣接する畑、圃場へ流れ込むことが考えられることから、雨水の滞留を解消するための道路に浸透枘を設置しております。

◇事前質問 2 (磯合住宅跡地の利用について)

磯合住宅跡地の有効利用として、高齢者のためのグランドゴルフ用の整備やトイレ、ベンチ設置や樹木の植林による木陰を設けることや、遊園地(少子化防止)又は福祉施設等の集中化(働く場所の確保)等の環境整備をお願いしたい。

また、コミュニティセンターの設置を考慮願いたい。

■建設部長

跡地利用の有効利用として、グランドゴルフ場の整備、遊園地及び福祉施設等の整備といたしていくつかのご要望をいただいておりますが、住宅跡地は過去に防空壕があった場所で、平成 19 年度に特殊地下壕調査を行い充填工事は実施しましたが、同じ箇所でも小規模な陥没が発生しております。この陥没はすぐに補修していますが、陥没のある敷地に遊園地や福祉施設等を建設することは、まだ十分に安全な状況とはいえないことから困難であると考えます。

住宅跡地と民地との境界確認、跡地内にある道路の位置づけといった処理がありますので、跡地の利用につきましては、地域の皆様のご意見・ご要望を取り入れ、関係部所との協議を進めてまいりますので、もう少しお時間をいただければと思います。

■市民生活部

コミュニティセンターの設置につきましては、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の地域の拠点として、平磯コミュニティセンターが位置づけされておりますので、現在のところ、磯崎地区へのコミュニティセンター設置計画はございません。また、磯崎地区については、磯崎小学校の会議室を地域活動にも利用できるようになっておりますので、あわせてそちらをご利用いただくようお願いいたします。

◇事前質問 2 関連

この具体的な要望は長年継続で住宅を払い下げてもらいたいとか、公園をお願いしたいとか抽象的なお願いだったと思いますが、この跡地が住んでおられる方がいなくなりまして、これまでは住んでいる方がいましたのでそんなにきついお願いはできないとは思っていましたが、今度は改めてグランドゴルフを出しましたが、昨年9月からホットサロンというのがありまして、高齢者の福祉と言いますか、それに民生委員の方や保健推進委員の方が一生懸命取り組んでくれまして、意外と盛んな事になりまして、今年4月から日曜にグランドゴルフを始めましたが、日曜は年間契約でリトルリーグの野球のチームが利用しています。民生員の方がリトルリーグの方と話し合いまして、お互い譲り合ってそれ

なりにはやっていますが、やはりそこには野球の球ですから、いつ飛んでくるかわからないですけど、その時は納屋の方で練習をやってくれているようですが、そういう中で、少し住宅地の跡にグラウンドを少し変形すればいくらかでもできるスペースが取れるという事なのです。是非とも、老人が元気になるという事は市の保険の費用も少し安くなるので、大きな意味があります。あんまり他の事は言いません。コミュニティセンターの事は何回もいつも言っていることで、今度ばかりは初めての要望ですから、当地区の高齢者の方が喜んでできるようなトイレやベンチ等の設置でお金もあまり掛からない要望と思っています。

また、今年の2月に磯崎のメインストリートの約400mが本当に綺麗な舗装になりました。一月、埃だらけになるのかと思っておりましたが、削りながらやっていく作業であったと言間にできました。最初にお礼を言わなければならなかったのですがありがとうございました。

■建設部長

皆様の意見・要望を聞き、関係部所と協議を行い検討してまいります。

■市民生活部

コミュニティセンターという事で、今年初めて新規で出させてもらったとの話がありましたが、先程の予算の報告の中でも、各公民館・コミュニティセンター・湊のふれあいセンターの10施設。各地域に地域移管で管理をお願いしている状況もございます。また、湊時代に集会所として建てた17の施設があったのですが、こちらについても各自治会をお願いをして、移管させていただくような方向で現在進めているところです。確かに磯崎地区には公民館がありましたが、震災で壊れて今はなくなってしまっている訳ですが、阿字ヶ浦地区からもコミュニティセンターの要望が数年前から出ております。今年度、勝田地区になりますが、3自治会において、自治会の集会所設置という事で進められております。地元負担という形で金額的なものは発生してしましますが、できましたらその集会所の設置の方向で、お金はどうするんだという話になるかも知れませんが検討いただければと思います。

◇事前質問2関連

磯崎の舗装工事につきまして、ただいま会長からお礼を述べさせていただきましたが感謝申し上げます。段差があったのがきれいになりました。コミュニティセンターも自治会でも盛んに話をしていたのですが、平磯学習センターが駐車場がないために他のコミュニティセンターと比べて活動内容が狭まれているので、平磯、磯崎、阿字ヶ浦3地区合同の教育的環境を整えるためのコミュニティセンターを整えて欲しいという話し合いも何度かしてきたのですが、何よりも駐車場が充分ありますので利用が便利だと思っておりますので、是非考えていただければ幸いです。

◇事前質問2関連

先ほど合併してから20年になりますが、磯崎地区は信号がまずないのです。これが何を意味するかというと何もしていなかったのではなかったのではないかとおかしいですが、してなかったのではないかと。一つずつ考えてみますとなくなった物が非常に多いで

す。磯合地区の市営住宅がなくなりました。それから放医研もなくなりました。それから電波観測所、昔から無線と呼んでいますが、実質的にはほとんど閉鎖が近づいております。また、先程コミュニティセンターの事でお話がありましたが、公民館も震災で無くなりました。磯崎地区には何もなくなってしまいました。そういう事を考えますと、残された市営住宅跡地をですね、グランドゴルフという事をお願いしましたが、担当部長からはあそこの土地は昔防空壕があったから出来ない。ただ出来ないで終わっていると思います。グランドゴルフを整備する位なら私は可能だと思います。現在の耐震は、例えば家を建てる場合はご存知のように全部地盤を調査します。そういう結果からすれば、これは簡単とは言う程ではありませんが出来ると思います。私は、高齢ですから先はありませんが、未来にそういうものを残して欲しいと思います。グランドゴルフ場を作る事によって、それを整備することによってこの地区が、話は大きくなりますが、市の大会をしたり、県の大会を開催する、全国大会も開催して、ここにはこういうグランドゴルフ場があるのだというぐらいの地区にして欲しいと思います。それができなければもっと考えて、笠間市にあるクライנגルテンのような休暇村等のような建物を作って、環境が素晴らしいところにありますから、そこでガーデニングとか家庭菜園ができるそういったセカンドハウスのようなものを作ったらどうでしょうか。そういうものを考えて欲しいと思います。ただ出来ません、防空壕があるからできません、私が小さい時に確かに防空壕がありました。今は一部地盤沈下で潜っているところもあるかもしれませんが、今の土木技術からすればそういう事は可能だと思います。このところを考えていただいて、磯崎地区に何か一つお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

◇事前質問2 関連

ホットサロン磯崎も、その月によって人数が20人ちょっとだったり、あとは新しいお友達を連れて来てちょっと多かったです。やはりこちらでも狭いと思う事もあります。土曜日はここでミニバスケットをやっているのですが、向こうで何とか楽しくやっていますが、できればゆとりを持ったところで高齢者の方にゆったりと過ごしてもらいたいと思っております。また、グランドゴルフの件ですが、私達は体育館の前から幼稚園のタイヤのところへ行ってやっていますが、最初はちゃんとできますが、時間が経つと少年野球クラブが来ますので三角形になって狭くなります。上から球が飛んでくるし、下でも木を打っていますので、やはりできればちゃんとグランドゴルフの場が欲しいと思っております。それから、磯合住宅跡地と言っておりますが、一つ候補として磯崎の防災倉庫をひし形に取りますと1面は取れますので金網を付けていただいて、草も刈っていただいて、仮設トイレも必要となります。できればそのように整備して欲しいなと思っております。青少年相談委員として、今月、小学校の先生と歩きましたが、その時に、ここには公園がないのですねと言われました。授業の中に公園へ行って花を摘んだり、秋になれば落ち葉を拾ったりいろんな動物等を作りたいと思っていますが、この地区はどこをみてもおなか山はありますが、もっと先に行ったところに公園がないのですねという話です。グランドゴルフ場を作れば、そこで親子でキャッチボールもできますし、少しずつ子供達も外で遊ぶような事もできると思います。その辺は少しずつ考えていただきたいと思っております。それ

から地区は別なのですが、阿字ヶ浦地区も歩いていたのですが、阿字ヶ浦駅に白ポストがありまして、それが全体に錆びついていて、茶色になっております。阿字ヶ浦の白ポストは需要がありませんので、ちゃんとした白ポストに直して欲しいと思います。

■市民生活部

防災倉庫の周りという事で、フェンスを回してベンチ、架設のトイレ設置と受けさせていただきましたが、市の方で、公園のない部分で、コミュニティー広場設置事業をやっていきます。これは市民活動課が窓口になって、未利用地の民地を使った公園的なもので、地元で活用できる敷地を使った事業をやっております。これには、市が全部費用を出して設置するのではなくて、自治会と2分の1、3年間の補助というのがありますが、そういうものを活用できるかどうかを含めて自治会長とご相談をさせていただきたいと思っております。

◇事前質問2 関連

雑草が活き活きと伸びます。そういう管理費用とこちらの利用に金をプラスマイナスしていただいて、自治会でも除草しますので、基礎の工事だけでもやっていただければと思いましたので最後に言わせていただきました。

■教育次長

ご指摘いただいた白ポストが茶色くなってしまっているという事につきまして、確認をして手を入れていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

◇事前質問3（集会所（4ヶ所）の塗装について）

平磯地区4ヶ所に集会所があり、3年毎に塗装を行っても12年後には、まだ塗装工事を行う事になってしまう。3年毎に塗装工事代を捻出することは現状の財政規模では難しく、集会所の返還も考慮しながら補助金の増加により塗装を3年毎に行う事は可能か。

■市民生活部長

平磯自治会は、1300世帯を超え、市内で一番大きな自治会であり、現在、4つの集会所を所有されております。当該集会施設は、それぞれが築30年以上経過しており、メンテナンス面でもご苦労されているものと思っております。

集会所を有する市内自治会におきましては、集会所に関する基金を設け、試行錯誤しながら、工事費用を捻出されている自治会もございます。集会所は、地域の居場所づくりや活動の拠点として、とても重要な施設であると考えております。

ご要望の集会所修繕に関する補助金の増額に関しましては、いろいろなご意見もあろうかとは存じますが、これまで同様、1/2の補助で対応してまいりたいと考えておりますので、何卒ご理解のほど、よろしく願いいたします。

◇事前質問3 関連

平磯自治会で、昨年授与されました集会所を含めまして、4ヶ所の集会所の維持管理を行っておりますが、昨年、遠原集会所の塗り替えの補修工事を市の補助金を利用させていただいて無事、完了させていただきました。ありがとうございました。その時に、これから残りの3つがありますが、この3つを何年か置きにやっていきますと、いつも

塗装工事をやっているようになります。毎年、予算を計上してやっていかなければいけないのかと。塗装によっても、そんなに高い塗装はできませんから、せいぜいシリコン系のものをもって10年しか持たないと。そうすると、4つの集会所を3年置き位に補助金を利用していただいてやりましても、1周するのに12年掛かってしまいます。そうすると、10年しか持たないということで、下地の方がサンディングの方まで傷んでくるという状況なので、その辺を私の方も考えまして、3年位で何とか工事ができないかという事で、現在、補助金の申請をする場合に工事が完了しまして、工事写真とか申請書を提出する事になっていますが、これは自治会で半分用意しまして、例えば60万かかるとしますと、半額の30万円だけ自治会でとりあえず3年掛けても1年10万円を想定しまして3年かけて用意します。残りの30万円分を工事施工の方に領収書を発行していただいて、その領収書を市へ提出して、残りの半額を補助金として自治会へ返ってきますので、その分を最後に払えば、業者のほうに2枚の領収書をやれば3年位で塗装ができるのかなと。今のところ60万円全額を自治会で最終的に負担しまして、60万円の領収書を市へ提出して、そのうちの半額を自治会の方に補助金としていただくという事なのですが、時期的には前になります、工事が終わって半分の金額だけとりあえず自治会で用意した半分の金額を市へ提出して、市から補助金として半分返って来ますね、その分を最終的には業者の方に払うと。そしてその領収書をまた提出するという事で、領収書は2枚にりますが、そのようにやっていただくと5~60万を5.6年間掛けてやるという事になりますと、現在だと4つありますから何年も経ってしまうという事なので、この辺を何とかお金を出す訳ではないですから、日にちだけのものなのでこの辺は早くやっていただければと思います。

昨年、授与されました坏町の集会所ですが、これは旧那珂湊市の頃に建てられた集会所です。それ以外の3つは平磯自治会が市から補助金をもらって作った訳でございます。この3つに関しては何とかやっていけると思うのですが、1つにしましては、水道代や電気代はこれまで通り自治会でみますので、できるだけ市の方で10年に一編の塗装にしましてはお願いできませんか。3年置きに塗装工事をやるとなれば集会所の補助金を申請するという事になってしまうのですが、それは可能かどうか。前の話だと毎年毎年はできませんと聞いておりますので、3年ぐらい経てば大丈夫なのかお聞きしたいです。

■市民生活部長

最初の領収書の件ですが、60万の塗装がかかれば30万が補助なのです。自治会の手元のお金を使わないで補助金の概算払いができるかどうかの部分だと思いますので後で確認をさせていただきます。

坏町の集会所の件ですが、以前に自治会の方で持っていたという経緯もありまして、心苦しいところではございますが、塗装の部分だけを引き続き市がという事は今の段階ではお返事する事は難しいと思います。先程も市の集会所17あった内の6自治会に持っていていただきます。地元の活動拠点として使っていただくという流れの中でお願いしているのが、柳ヶ丘・小川・海門町・相金・平磯・関戸という形で皆様にお願

いしてきたところです。市の補助金なのですが、市内全部の自治会がありますから、この程度はこの形という事で、以前、川向だったと思いますが、修繕箇所の確認に行ったら綺麗だったので先に延ばしてもらった事を覚えています。そういう流れもありまして、4つの集会所の外壁の塗装を3年毎で12年という部分を、もう少しスパンを長くするとか自治会の中でご協議いただきながらご協力のほどいただければと思います。

◇事前質問4（放医研跡地の利活用の検討結果の提示について）

ひたちなか市復興計画 H24/8 復興施策の推進の中での利活用について検討結果を聞かせて欲しい。地元地域で利用したく市民会議のテーマに上げたい。

■経済部長

放医研跡地の利活用の検討結果の提示についてのご質問に、お答えいたします。放射線医学総合研究所の跡地につきましては、平成23年の市への返還後、全庁的に跡地利用について検討をしております。

観光振興課においては、観光拠点である那珂湊おさかな市場と国営ひたち海浜公園の中間地点にある事や、太平洋を一望できる景観や中生代白亜紀層の海岸に面し、磯遊びスポットでもあり、観光客の往来も多いことから、本市にはない「観光案内所」機能を設けることが望ましいという検討を行った経過がございます。

しかし、道路から約2メートル高い地盤であること、前面の県道が海側へ膨らむカーブにより、車の往来が確認しづらいこと、地盤が軟弱であり整地されていないことなどから、観光案内機能として安全性の確保と誰がどのように案内機能を果たし、これを維持するかという事について、検討が必要であるというのが現状であります。

この海岸が、地域の皆様にとって特別な場所であることから、地元のご意見は可能な限り尊重したいと考えております。観光振興に寄与するといった目的と安全性などを兼ね備える利活用策であるならば、海岸道路の拡幅整備の件もございますので、それまでの暫定的な取扱いとはなりますが、ご利用方法をご提案いただきたいと思います。

◇事前質問4 関連

市の復興計画、平成24年8月という事で上がってしまして、それにずっと注目していました。結果として、市の方でいろいろ検討されて待ち望んでいたのですが、なかなか出てこないの、実際はどうなのか。あの場所は承知しています。それでですね、観光案内所を検討したが、今の状態では危なくて出来なかったという結論で終わっているようですが、私が見ている限りでは、更地になっていて、あの広さ・場所です。という事で私はあそこに何かものを作ってくれというつもりはないですが、我々の方は、基本条例で何とか町おこしをしようという事の中で、一つの流れとしてジオ・パーク。実は今日も80人のお客さんをお呼びです、午後1時から平磯のジオ・ポイントで案内してやっています。そういう関連のジオ・ポイントは間近なのですね、あれをほっておく手はないのですよ。町おこしという事で、基本条例で市民会議で町おこしという事で何とか勉強してきて動き始めています。市のほうには黄色いジャンパーを着て1年間回っていろいろご迷惑をかけましたが、何とか報告は出来たのかなと。今年は、実際に移ろうという矢先で、市の検討結果が

なかなか見えてこないので質問しました。ついついはあそこは今、県道の拡張工事を考えて一緒に動いていますが、それまで道路が綺麗になるまで何年も経ってしまうでしょう。スケジュール的に言っても4、5年たつでしょう。そうしますとあのままではもったいないから、その間に観光案内所だけではなく、いろいろな利用方法があると思うので、あの空き地を我々に開放して使わせてくれと。利用目的によって検討しますではなくて、協働の行動をとっているつもりなので、我々が検討・提案するのではなくて、グループのワーキングの中で市の関係者、あるいは地域の関係者が一緒に入って市民会議でまとめていきたいと草案は頭の中にありますが、いろいろ各部署の調整がありますので是非、これを早く鍵を貸すと、一緒に中身について考えようという事ですぐにでもスタートさせていただきたいと。経済の観光振興に限りという言葉ですと私も困りますが、この辺の関係の位置付けを県の企画部の職員と話したら、いろいろ協力体制を取ってくれるという動きが始まっていますので、それよりも市の方の企画部でフォローしてもらえればと思いますので、すぐにでもOKという返事をいただきたい。どうでしょうか。あそこは危ないという話ではないのです。結果としては交通事故がありました。あれはそれなりにやれば使える話。現に放医研が機能していた訳ですから。すぐにでも検討してできればいいですよという言葉ができれば今日にでもいただきたい。よろしくお願いします。

◇事前質問4 関連

今本当に行動を伴った提案があったと思うので私は敬意を評しています。もう一つアイデアとして、ただ観光案内所を作るのではなくて、ここには農協も磯崎漁協もあります。そういうところのお力を借りて、今ブームになっている道の駅を作ったらどうですかね。さらに先程お話があったジオ・パークとか非常に素晴らしい海岸線の道路拡張工事も契約に入る予定ですから、併せてそういうのを関連して是非おやりになっていただければ、ご提案のようなことがますます市の発展や経済効果を引き出すと思います。農協も漁協もやりたくてしょうがないという方もいると思います。そういうのを活用すれば、海岸の放医研跡はすばらしいところができると思います。地盤が軟弱だと思いう話がありました。元々は田んぼがありました。実際は放医研を作る時に完全に埋めまして、土を盛ったのでそれほど心配はないと思います。下は岩盤ですから、もう少し前向きに積極的にお願ひできればと思います。すぐに検討したいとか出来ませんというお話が非常に多いと思うのです。地元の方の力を借りて、出来るものはやらせていただければ良いと思うのですがどうでしょうか。

■経済部長

現在の県との結果という事で、先程答えを出したものが観光振興課においては、観光案内所を検討した結果があるという事を申し上げたところでございます。まず、海岸道路の拡幅という事が、今計画されておまして、市の場所については候補地として先程、道の駅と話が出ましたが、観光交流施設として、あるいは駐車場を整備する、そのような考えも持っております。ですから将来的には地元の皆様の要望を伺いながら、そういう施設を整備していくという計画は持っておりますので、道路整備はまだ先でございますので、その暫定利用として、地元で考えている利用策を提案していただきたいという事で申し上

げた訳でございます。それについても当然、市でもご協議をさせていただきたいと思います。

◇事前質問5（平磯地区公共下水道整備について）

家庭廃水等による海の環境破壊等の対策から早期整備の必要性はあるので、計画策定はいつになるのか。

■建設部長

平磯地区の公共下水道整備につきましては、整備対象区域としての位置付けがなされていないことから現事業計画の計画期間であります、平成30年度までは、公共下水道の整備を行う予定がない状況にあります。

平成30年度に事業計画の見直しを予定しておりますが、公共下水道を整備してもなかなか下水道へ接続をしてくれない地域もあることなどから、新たに下水道の整備を行う区域の選定にあたりましては、地域の方の意見・要望等を聞き、また合併処理浄化槽の設置状況を考慮しながら、優先順位を定め事業計画区域の位置付けを行っていきたいと考えております。

以上のことから、現段階では具体的に整備時期の回答をすることは出来ませんので、ご理解いただきたいと思います。

◇事前質問5関連

予定が30年度に見直すという形で理解したが、それまで持つかどうか。どういう意味かという、平磯地区は今のところ南側の海に向かって傾斜を持ってしまして、自然排水で何度か街の中の生活污水等の衛生面が確保されています。ところが7番の問題を見ますと、根本的には近視眼的にはここを直せばいいのですが、実際は汚水と雨水を含めて統合的な事をやらないと平磯町はどうしようもない。他の地区をやっているが、砂止めが悪いとかというのはちょっと、我々としてそういう条件は全然。本来は、それは逆に行政で努力するものであり、やっているところに対してはもっと効率の良い指導も含めてやって欲しい。平磯については基本、次の基本の計画策定を始めると思いますが、その時に明確に日にちとか最優先事項として、平磯町の生活安全の環境を作るという事でやって欲しいです。全体の計画あるけれどそれはまだですと、ほかはまだ整備が終わってないからダメです。それはちょっと許されない話だと見えています。その後、十分に検討して欲しいです。よろしくお願いします。

■建設部長

平磯地区の整備対象区域としての位置付けにつきましては、只今お答えしたような状況がございますので、今後検討してまいりたいと思います。

◇事前質問6（平磯と磯崎の間に学校を建てる件について）

市民会議のテーマの一つとしてまとめ関係部署に提出したが、その後の進捗状況を聞かせて欲しい。

■教育長

平成26年2月20日に平中学区明るい地域づくりの会市民会議会長から「少子化対策のための小中校の適正化」を市民会議テーマのまとめとしてご提出を受けております。

その中では、地域内の児童生徒数が著しく減少することへの対策として、他の学校や地域との合併によりスケールメリットを確保すること、教育内容の充実や学力向上への期待として、施設一体型または併設型の小中一貫校を設置することなど、教育現場のメリットに関するご提言を頂戴し、深く感謝しております。

平成25年度には、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区にある小中学校の保護者の代表としてPTA役員の方々にお集まりいただき、2回にわたり意見交換を行いました。

子供たちの育ちの場である学校の学習環境・教育環境を整えるためには何が必要であるか、大人たちは何をすべきかということに主眼を置いて協議を進め、一定の共通理解が図られたと考えております。

また、平成25年度末に平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の全ての小中学校の保護者を対象に「小・中学校の適正規模・適正配置に関するアンケート」を実施し、実際にお子さんが学校に通っている方々のご意見のとりまとめを行いましたので保護者の皆様や地域の皆様へお知らせしてまいりたいと考えております。

今後につきましては、阿字ヶ浦地区の皆様との話し合いを重ね、新たな学校建設に向けての合意が得られました時には、学校規模の適正化について具体的な検討を進めるため、教育委員会から叩き台となる素案をお示しして、保護者の皆様や地域の皆様との意見交換を重ねてまいりますとともに、適正化に向けての議論を更に深めてまいりたいと考えております。

◇事前質問6関連

磯崎小学校は、多分市長もご存知だと思いますが、今年は56か58名だと思います。自治会ではこの問題が5～6年前から出ていまして、最近、一昨年から市政懇談会に提出した訳ですが、思ったより急激に減少している事に地元でも危機感を感じています。ご承知のように地域に子供達がいないうち少ないという事は、地域全体が活力がなくて町全体が疲弊してしまっている形なのです。これは何とか子供達を増やすため、それは若い方達が安心して学校に通わせたいという気持ちが一番大事だと思います。磯崎は、地元にも跡を取って子どもがいても、ご承知のように最近不安を感じまして勝田地区のほかの地域に若い人達が引っ越して行ってしまふ。これが大きな減少になっていますが、これを止めるのは我々にもなかなか出来ませんので、いつ頃までに良い案が出るのか、その辺の目途だけでもお聞きできれば、その辺の不安の解消や地域の方々の希望が持てるのではないかと思うのですがどうなのでしょう。

■教育長

教育委員会といたしましては、1学年2クラス以上が実現するような新たな学校建設する道を選択したいと思っています。そのつもりでここ3年程、この席でもお話しをさせてい

ただいております。子供達の減少というものがどの程度なのか数字を申し上げますと、磯崎小学校は平成28年度から複式学級が1学級、平成30年度から複式学級が2学級。また、平成31年度には全校児童が39人という数字になると。これは予測でございますから、現実にはどのようになるかわかりませんが、そのような状況を迎える事になると、私も相当危機感を持っています。先程申し上げたように、皆様方多くの方が新たな学校建設の道を是非進めていただきたいという合意ができましたら、できるだけ早く取り掛かりたいと思います。現状が大変厳しいという事は充分承知しておりますし、やはり学年1クラスでは切磋琢磨の場も足りません、クラスマッチも出来ません。子どもたちは、いずれ大海に漕ぎ出していかなければならないですし、それまでに人間的な成長が遂げられるかという不安もありますので、十分に前向きに私共も動きを取らせていただきたいと考えております。

今後何年を要するかという事につきましても、新しい学校を建設する道が皆様方のご支持が得られるかどうかという事が一番の鍵になるかと思っております。

◇事前質問7（平磯地区河口排水（3ヶ所）の整備状況について）

早急に対策案ができるよう地元も協力したい。

■建設部長

これまで長い間、平磯地区河口3カ所の雨水吐け口は、高潮や潮の自然の影響を受け、管が閉塞し雨水による内水が溜まり浸水被害を及ぼしているところです。

この解決策と致しまして消波ブロックの嵩上げを考えております。消波ブロックの位置等におきましては、地元自治会の意見を聞きながら対応してまいりたいと考えております。それまでの間職員によるパトロールや被害状況に応じた対応を行ってまいります。

◇事前質問7関連

河川課より9月頃からやる予定と聞いておりますが、それは確実ですか。もう一つ河口口の一番北側の車道の部分が波で浸食されまして崩れそうになったのを、県議と大宮土木事務所へ行き工事を依頼しました。本日、工事が終わりました。そこにもブロックを置いてもらえるかどうか。

■建設部長

消波ブロックにつきましては、まだ日程的なものは確実に決まっていますが、年内には実施する予定です。

それから北側の消波ブロックにつきましても検討してまいります。

◇事前質問8（平磯地区の潮祭（三社祭）への補助金の要望について）

平磯地区で開催されるお祭り（潮祭）の件でその内容等に他の地区との相違があります。補助金の拠出については是非ご検討願いたい。

■経済部長

平磯地区の潮祭り（三社祭）への補助金の要望についてのご質問にお答えいたします。

平磯地区の潮祭りへの補助金につきましては、平成19年度の補助を最後に現在は支出さ

れておりません。

経緯としましては、平成 18 年度に市の補助金の見直し検討を行った際に、平磯地区のお祭りに対する補助金については、市内の他の地域の祭りには補助金を支出していないことから不均衡が生じていることなど問題があることがわかりました。その後、その当時の祭りの代表の方に見直しの内容を説明し、平成 19 年度実施の祭りへの補助を最後に支出しないことをご了解をいただいたところです。

現在の市からの祭りに対する補助金につきましては、勝田地区のひたちなか祭りと、那珂湊地区の八朔祭りを対象に、一括してひたちなか祭り実行委員会に対して支出しております。2つの祭りに限定している理由としましては、市を代表する市民祭りで、相当数の集客（万人単位）を見込める観光振興の目玉として位置付けているためであります。皆様のご理解をお願い申し上げます。

◇事前質問 8 関連

平磯祭りの云われは天保時代に始まり、その当時、カツオがいっぱい獲れまして、漁師の方が毎日疲れてしまうので、津口神社の祠を担いだのが、それで休みがもらえるという事で始まりだと聞いております。明治の初年に神輿ができて、その時に祭りの法令が決まったそうです。昭和 4 年に法改正をしまして、昭和 43 年に祭りの目的が家内安全・海上安全・大漁祈願・町民全員によることを目的としてやるという事です。これは決して神事ではないと、観光目的もあるし、市長も祭りを見に来て、十分に盛り上がりを見て感じておられると思いますが、子供会・若連・祭事会・町内の人全部で町の活性化を図っております。祭りのお金としましては、各家庭に月 400 円を各町内で戸数が少ないところは月 500 円を集めております。3年で 15,000 円集めております。勝田の祭りが 750 万円、湊の八朔祭りが 250 万円、毎年出ております。平磯の祭りは 3年に 1 度なのに、何故でないのか。湊祭りも観光目的と言いますが、天満宮から始まって天満宮に戻ると。

これは神事になりますね。それから、合併後の平成 13 年をお願いしまして、50 万円、16 年に 50 万円、19 年に 80 万円。これが何故 80 万円になったかということ、ささらが屋台の上に獅子が 3 体いる訳ですね。これは昭和 43 年に那珂湊の無形文化財に指定されております。そういう訳で平磯にも補助金、もしくは助成金をお願いしたいと思っております。

■経済部長

平磯地区の伝統ある祭り、町の活性化のためにという事で、町民の方から毎月集めている。世帯数も少なくなつて大変だということもお伺いしたところでございます。

そういった経過は確かにあると思いますが、市全体を見てみますと、自治会単位あるいは町内単位でお祭りを実施してやはりいろいろご苦労されてですね、祭りの費用を集めているという事でございますが、繰り返しになってしまいますが、そういった祭りとの公平性という事で判断をしたものでございます。なお、ひたちなか祭りと八朔祭りが出ましたが、ひたちなか祭りについては、商工会議所の青年部が中心となって、市民の方が企画して誰もが参加できる祭りという事でございます。今年は 20 周年という事で、新たにフォーミュラカーを F1 に出ているチームをお呼びする企画もあると。あるいはまた、タイムカプセルをギネスに挑戦という事でそういった新しい企画もあるという事でございます。そう

いった市民が手作りの祭りという事で補助金を交付させていただいております。それと同時に、那珂湊地区。確かにこれは天満宮御祭礼という事で神事の行事ではございますが、観光客も2万人が見物にくるという事で勝田地区がひたちなか祭り、那珂湊地区は八朔祭りとそういう市民の二大祭りという事で、補助金を交付しているところでございますので何卒ご理解をいただきたいと思っております。

◇意見・要望

先ほど市長の方からお話があり、市政の今後の方針が見えましたので良くわかりましたので大変ありがとうございました。それにも増して放射能に対する方向は、近隣の市町村ばかりではなく県とは言わずマスコミを通して、全国の市町村あるいは国民が見守るところだと思っています。慎重にこれにもまして全力で市民を代表して取り組んでいただきたいと思っています。つきまして放医研跡地の質問がありましたが、それに重なる部分がありますが、ひたちなか市もここ数年の間、商工業すべてにおいて、目まぐるしく発展していると思っております。それにおいて、県道の6号線の湊から平磯・磯崎・阿字ヶ浦の海岸方面に延びている、自然の恵まれた地域について伺いたいののですが、地域の皆様は、旧東屋製氷冷凍跡地が工場を取り壊したままになっています。これは今後どのようにしていくのか。そして海岸沿いの右側に、市民が何件か住んでいた跡地がありまして、あの辺の土地、たぶん市の土地になると思うのですが、そういった土地は大変素晴らしい良いところだと思います。先程、経済部長の話に、拡幅工事・道改良工事という言葉が出ていますが、ちょっと歴史を紐解いてみますと、湊地区は湊河口から姥の懐、平磯海岸・平磯中学校までは昔の旧海岸線沿いを全部埋めたので大幅に自然の景観が変わってしまいました。そして、磯崎の漁港から阿字ヶ浦海岸も常陸那珂港を作る事によって、自然の景観が全然違う形のものになってしまいました。幸いと言いますか、磯崎地区は昔の姿がそのまま大体残っています。かなり古い白亜紀層ができたところから引き続き景観がある程度保たれている場所だと思うのです。この景観の良さは、道路拡幅工事に関わる言葉になると思うのですが、道路の長さは約2kmぐらいですから車で通るとわずかな距離です。私もある程度いろいろなところを見る機会に恵まれたので、世界もちょっと見て来た事もあるのですが、やはりここの海の景観は、車から降りて歩く事ですごく魅力が出ます。なぜかと言いますと、道路から海が掴むように展開しているのです。これは、スピードを出して通り過ぎるのではなく、あの海はやはり歩いて散策する事。これによって魅力が計り知れないものがあると思います。この辺りの整備は、春は採草海草を取る方々がいます。夏は採鮑、そして1年を問わず、漁民が豊饒の海として収入を得ている場所であります。海の中はすごく良い環境です。そういったここだけの限定されたエリアですから、慎重にそういったものを考えていただきたいと考えております。

新規の津波監視システム事業は大変良い事だと思うのですが、枠を広げて、去年の台風28号とか、低気圧が太平洋側を北上する時に、北東の風が吹くと海水が道路に遡上してしまうのです。そういったものが常陸那珂港湾や震災による地盤沈下によって目まぐるしく自然の驚異が増しています。地震や津波はそんなには思わないので、毎年くる台風等の

防災を取り入れて幅広く活用するようにお願いしたいと思います。

司 会

最後に懇談のまとめを市長より申し上げたいと思います。

■市 長

大変時間が有効に使われたと言いますか、事前にいただいた質問で時間がいっぱいになったのはこの地区だけです。それだけ随分日頃から皆様方もお考えになって、ここぞとばかりいろいろ出されたのかなと言う感じがいたします。大変貴重なある意味では示唆に富む、また最近のこの地域の皆さんのお考えを改めて感じる事が出来て、私自身もいろいろ考えさせていただきました。

磯合住宅の問題にしても、それから放医研の跡地の問題にしても、いい素材であると思うのでありますけれど、それをどのタイミングで生かしていくかと言う事が、今までもいろいろ問われていたと思うのです。磯合住宅がきれいになったのでこの際だからと、力がさらにこもったと思うのであります。そして市内で何箇所もグラウンドゴルフで練習する場所が欲しいと言われております。高齢者がゴルフをやって元気になって健康も保たれて、医療費も少なくなるだろうからどんどんやったらどうかという事でありまして。そのとおりだと思います。磯合住宅の跡地については、これまでの検証した結果も蓄積をされてきているわけでありまして、今ご提案のあったような形で活用していく、活用の仕方を充分具体的に検討していきたいと思っております。グラウンドゴルフにしてもどういう取り方をすればいいのか、休憩室にしてもどのくらいあればいいのか具体的に詰めさせていただきたいと思っております。もともと形が特別なものでありますし、全部をいっぺんに活用するのはなかなか難しい状況にはあったと思っております。グラウンドゴルフ、それから家庭菜園的な意味合いも含めて、クライנגルテンが御前山にあったわけでありまして。充分イメージとしては分かりやすいのかなという印象を受けました。前向きにこういう問題を捉えて是非やっていきたいと思っております。そう言うタイミングになっていたんではないかと思っておりました。

それから放医研の問題も、先ほどここで答えを出せと詰め寄られましたが、貴重な海岸であるので、歩くことも基本ではないかとか、ジオパーク実際にやられていると思っております。県道の整備をすることについて、全体的な推進体制が出来たところでありまして、なんとしてもやはり阿字ヶ浦から磯崎、平磯を通る県道については、整備をする必要があると思っております。ただその整備の仕方についても、沿道の整備、歩くことの関係からいってどのような構造にするかという事を、これから具体的に考えていきたいと思っております。ただ若干時間がかかると思っております。ですから、放医研の跡地についても、あそこに道の駅をどんと作って、どれだけ効果があるか、道路が阿字ヶ浦から出来ない限りは、おそらく採算が取れないと思っております。他の地域のところと比較しても行き止まり的なものでちょっと苦しいです。ですから、少し本格的な施設整備をやるとすれば、道路の整備と合わせて考えるタイミングだと思いますが、それまでの間もいろいろ提案をし活用していきたいと言うお話であります。ただ市の職員も入って一緒に検討し、勉強して取り組むという事でありまして

から、それをやらさせていただきます。あのまま放って置いて良いと決して思っておりませんが、いつあの素材を生かすかと言うタイミングの問題として、私も気にはなっていたところでもあります。道路の話が出ましたので、やはりそう言うことも少し視野の中に入れながら、まず当面の使い方とその後の整備の仕方について考えていきたいと思えます。

なお、余計な話ですが、どれだけ観光や人に来ていただくことに力を入れるかという事は、かなり本気になってやらないといけないことの一つだと思います。くじらの大ちゃんが頑張っていますが、じゃあ全体的にレベルとしてどれだけ吸引力があるかと言ったときに国営公園があってお魚市場があって、一つの連携も必要ですし、ただここでじっくり降りて歩くという設定も必要だと思います。今大洗は一生懸命頑張っています。大洗はとにかく観光でやっていかないといけない街です。大洗から言われているのは、ひたちなかと連携しましょうと言われていています。東海村を含めて。なんか乗っ取られてしまうのではないかという心配が若干あるのですが、これは冗談ですけど、大洗と連携して例えばこの人を来てもらうという一つのイメージを、作らなければいけないのではないかとつくづく思いました。海の大学とかずいぶんやっていますし、そう言うことも頭に入れて、かなり本腰を入れてやるそう言う時期に今差し掛かっているのではないかと思います。

いろいろお答えの中で、出来ない理由をいくつか並べて、市役所の職員、役人は大体やれない理由はすぐに3つぐらいは挙げられる。それが一つの特色であります。だからと言ってやらないということではないとお考えいただければと思います。それも当然クリアしながら、やる気と目標を持って進めることが何よりだと思いますし、それから客観的かつかなり冷静な判断もしながらという事になると思いますので、大切なご意見をいただいたことに感謝を申し上げたいと思えます。

最後の学校の統合の問題でありますけれど、これもいつまでにやるのかと言う問いかけをいただきました。これもかなり深刻な問題だろうと私は思います。例えば今のご提案はもっともだろうと思いますが、若い人達がどこに住むかという場所を選択するとき、教育のことを考えるのは体勢としてはそうなのです。この学校を統合したり新たに造るときに、魅力のある物にするにはどうしたら良いかという事になると思います。今まで学校の魅力とは何ぞやということは、それほど正面きって議論されたことはあまりないです。ですから阿字ヶ浦に行けば小学校1つ、中学校1校あるのだから小中一貫だろうと。それだけで小中一貫と言っていいのかどうかという事もあります。間違いなく1学年1クラスです。9年間ずっと同じクラスでやっているわけです。教育長も色々なところでお話をしますけれど、教育的な配慮、子どもが育っていく環境の中ではたしてどうなのかなと言うのは確かにあるわけです。出来れば阿字ヶ浦を含めた中で魅了ある学校を造るという事が、私は良いのではないかと思います。思いますが阿字ヶ浦の人は阿字ヶ浦のお考えがある。今から懇談会があるのです。ですからその擦り合わせをいろいろしなければいけない。質問が出ていますから三小学区を一部阿字ヶ浦に持ってきたらどうかと、そんな提案もあるのです。これも実際に出ていますから、それについてどう考えるか皆さん方も知っていただきながら、詰めていかなければいけないと思えます。結論から言うとやはりこの地域で、あそこに子どもを入れたいなというような、進学だけではありませんが、そうい

う学校を造るチャンスかもしれないです。

今年の10月には湊線の新駅が柳が丘団地の方に出来ませんが、作れといえど駅が1つぐらいいは出来るかも知れないです。3,000万ぐらいかかりますから簡単に出来ると思われるとかないませんが、そういうことも含めて場所の問題とかそういう事については、柔軟に考えて行きたいと思えます。去年も申し上げましたが、磯崎小学校も平磯小学校も応急的に新校舎を整備しましたが、造ったからといってその事を前提にして、ものを考えることは決してありません。やはり今の学校の環境整備をする時には、必要なことでありますからやりました。ただあの校舎が例えば5年で終わり、7年で終わり、何年かかると言うお話がありますけれど、それはそれで止むを得ないことで、新整備する場合にはこだわらずにやりたいと思っております。もう少しその辺のすり合わせをし、多くの方に理解をしていただけるような案をお示しをさせていただいて、これなら良いのではないかという物になるべく早くまとめられればなと思っております。平磯の方も磯崎の方も高齢化が進んでいて、子どもが少なくなっていく中で、どうやったらこの街が元気が出るかということだと受け止めています。

祭りの補助金も改めて要望をいただきましたが、他の地域の話もさせていただいて、もう少し具体的に市内のコミュニティや自治会でやっているお祭りが、今どんな状況で今後どうなるか少し見極めたいと思えます。かなりのことをやっているところもあります。ただなかなか開催に苦しんでいるところも実際あります。そういう状況を見ながらあと一押ししたら良いのか、それともやりたいところどんどん後押しするようなことが良いのか、そういう事も含めて、簡単にやりますと言いませんが、そういう視点で考えてみたいと思いました。私もいろいろなお祭りに呼ばれますので、こんなこと良くやっているなと思うことがあります。伝統の古さから言いますとここは間違いがないわけでありまして。それなりに工夫されているところもありますので、そういう方の気持ちもお互いなかなか良くわからないので、そういうことも頭に入れながら、少し考えさせていただきたいと思えます。

大変もう後30分ぐらいやった方が良いのかなと思えますが、次は阿字ヶ浦なので、少し時間がぎりぎりになってしまっていて、まだまだ言い足りない方もいらっしゃるのではないかと思います。冒頭に申し上げたように、今日だけが市政懇談会と思っているわけではありませんので、ここで一発決着をつけて来年までじっとしていようと思っている訳で決してありませんので、その辺は良くご容赦をいただきたいと思えます。

まとまらないまとめになったかもしれないですが、今日いただいたご意見ご提言を、その気持ちやその背景になっているものをしっかり受け止めさせていただいて、そしてこちらからこういう形ならできるのではないかと言う対案を出させていただくという形で、今後協議させていただきたいと思えます。

今日の活発なご意見に心から感謝申し上げまして、名残惜しいのでありますけれども市政懇談会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。